

グローバル中小型株式ファンド

運用報告書（全体版）

第5期（決算日 2025年6月17日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル中小型株式ファンド」は、2025年6月17日に第5期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
当ファンドにおけるSDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の組入比率はマンスリーレポートに記載しています。下記URLをご覧ください。
<https://www.resona-am.co.jp/fund/120018/>
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年10月6日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の中小型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル中小型株式ファンド	・RMグローバル中小型株式マザーファンドの受益証券
	RMグローバル中小型株式マザーファンド	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	グローバル中小型株式ファンド	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	RMグローバル中小型株式マザーファンド	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

ホームページ： <https://www.resona-am.co.jp/>

＜運用報告書に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル：0120-223351

（委託会社の営業日の午前9時～午後5時）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス (配当込み、円換算ベース)			株式組入比率	純資産額	
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰	落 率			(参考指数)
(設定日)	円			円		%		%	百万円
2020年10月6日	10,000			—		—	194,409.14	—	1
1期(2021年6月17日)	13,752			0		37.5	272,773.84	40.3	45
2期(2022年6月17日)	9,528			0		△30.7	260,868.34	△4.4	39
3期(2023年6月19日)	11,711			0		22.9	319,040.66	22.3	49
4期(2024年6月17日)	11,811			0		0.9	390,064.76	22.3	39
5期(2025年6月17日)	11,073			0		△6.2	420,418.63	7.8	10

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額(元本=10,000円)です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む世界の株式のうち中型株を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)		株 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2024年 6 月 17 日	円	%		%	%
	11,811	—	390,064.76	—	97.6
6 月 末	12,518	6.0	400,709.95	2.7	97.9
7 月 末	11,927	1.0	391,002.50	0.2	98.3
8 月 末	11,777	△ 0.3	382,807.76	△1.9	98.0
9 月 末	11,710	△ 0.9	391,815.26	0.4	96.2
10 月 末	12,386	4.9	412,283.72	5.7	98.4
11 月 末	12,560	6.3	418,549.21	7.3	97.2
12 月 末	12,549	6.2	421,747.43	8.1	97.8
2025年 1 月 末	12,648	7.1	426,759.58	9.4	98.1
2 月 末	11,598	△ 1.8	405,792.79	4.0	98.6
3 月 末	10,659	△ 9.8	398,270.44	2.1	98.8
4 月 末	10,017	△15.2	382,203.08	△2.0	95.6
5 月 末	10,811	△ 8.5	408,776.39	4.8	97.4
(期 末) 2025年 6 月 17 日	11,073	△ 6.2	420,418.63	7.8	98.2

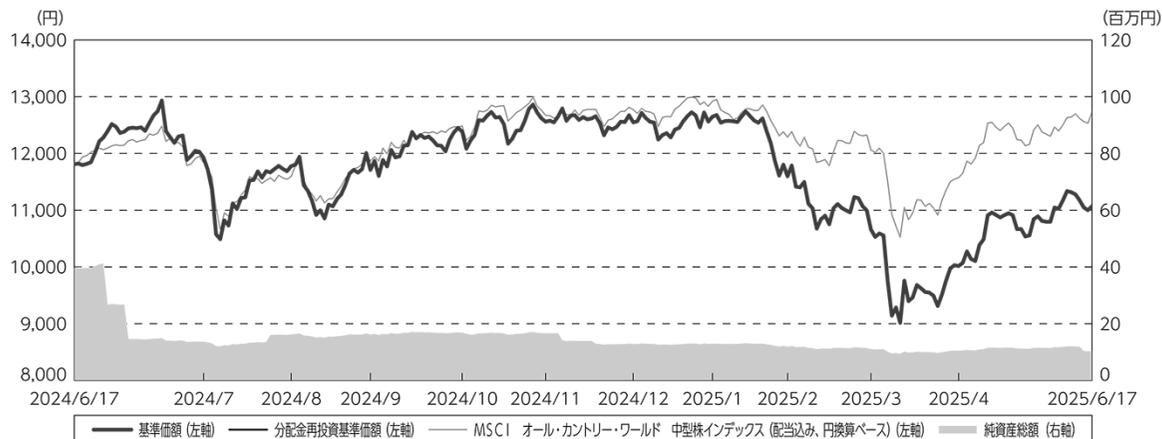
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2024年6月18日～2025年6月17日)

期中の基準価額等の推移



期首：11,811円

期末：11,073円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：△ 6.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、円換算ベース)は、期首(2024年6月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。
- (注) MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む世界の株式のうち中型株を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

米国の関税政策の影響が懸念されたことや、保有する日本の小型株が相対的に低調であったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期初は、米国の景気後退懸念により一時的に不安定な動きとなりましたが、その後は買い優勢となりました。期中では、トランプ氏が米大統領選挙で再選したことを受け、法人税の引き下げなどへの期待から米国株への買いが進んだほか、ECB（欧州中央銀行）による利下げ継続などが支えとなり、更に上昇しました。期後半では、米国の通商政策などを巡って株価が大きく上下するなど、一進一退の相場環境となりましたが、その後相互関税の上乗せ部分を一時停止したことなどが好感され、買い戻しが優勢となりました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円高となりました。

米ドルに対して、期初は、日米の金融政策の違いから一時円安が進みましたが、日銀による追加利上げの決定や、米国の景気後退懸念に伴うFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測の強まりを背景に、円高米ドル安が進行しました。期中は、想定より底堅い米景気指標などを受け、FRBによる利下げペース鈍化が意識され円安米ドル高となりました。期末にかけては、米国の景気悪化懸念や、トランプ政権のパウエルFRB議長に対する解任発言などを受けて、円高米ドル安が進行しました。

ユーロに対して、期前半は、ECBが連続で利下げを行った一方、日銀は利上げを実施し、円高ユーロ安が進行しました。期後半は、ECBによる利下げ打ち止めが意識される一方で、日銀が追加利上げを見送ったことにより、円安ユーロ高に転じました。

新興国地域において、日銀は利上げを実施した一方、中国では期を通して緩和的な金融政策を維持したことにより、円高元安の動きが続きました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

RMグローバル中小型株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期末における、SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の純資産総額に占める組入比率は98.3%です。なお、保有全銘柄に占める当該投資銘柄の比率は100%です。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■アルナイラム・ファーマシューティカルズ（米国）

核酸医薬の一種であるRNA干渉薬の分野でのリーディングカンパニーです。体内で遺伝子から異常なタンパク質が合成されるプロセスを阻害することで様々な疾患の治療を目指しています。ドラッグデリバリーシステム（薬物を体内の特定部位に届ける技術）の確立で、将来的には生活習慣病の治療への貢献も期待されています。当期は開発中の心臓治療薬の治験結果が良好で、実用化への期待が高まったことから株価は上昇しました。

■クラウドフレア（米国）

世界中に構築されたサーバーネットワークによりインターネットの高速化を実現しているテクノロジー企業で、近年はサイバーセキュリティ分野でも業績を拡大しています。グローバル化の進展や働き方の変化を受けて、高速で安全なネットワークインフラの維持が求められるなか、同社はソフトウェアを使って仮想的にインフラを構築することで、柔軟に対応できる体制を整えており、持続的な成長が見込まれています。当期は大幅増収が続くなかで成長期待が一段と高まり、株価は堅調に推移しました。

<マイナス要因>

■レックスサイト（米国）

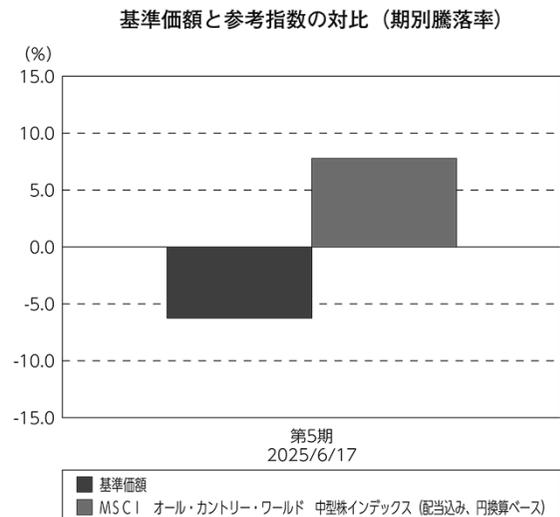
白内障の手術後に使用する眼内レンズを製造・販売している医療技術企業です。同社が開発した眼内レンズは紫外線を当てることにより事後的に度数の調節が可能のため、手術後に必要な視力調整をレンズで行える点を評価しています。売り上げの拡大は続いているものの、足元競合他社の台頭で成長期待の低下懸念から、一旦売却しました。

■ソラコム（日本）

IoTプラットフォームをグローバルで提供しているテクノロジー企業です。IoTは住宅や自動車、家電、電子機器などさまざまなモノをインターネットでサーバーやクラウドに接続し、相互の情報交換を可能にする仕組みです。同社はIoTを活用した事業・サービスの展開に必要な機能をワンストップで提供することで、企業の成長機会獲得や生産性改善に貢献しています。中期的な成長性に変化は無いものの、案件規模の拡大で受注から納品までの時間が長期化し、業績の鈍化が懸念されたことから、一旦売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークを設けておりません。グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第5期
	2024年6月18日～ 2025年6月17日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,297

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMグローバル中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行う方針です。なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RMグローバル中小型株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とするとともに、需要サイドのニーズと、社会の構造変化やそこから生じる「社会的な課題」に着目し、社会的な課題とSDGsとの関連性にフォーカスすることにより、ユニークな投資アイデアの創出に努めます。持続的な成長が見込まれるさまざまな有望市場や商品・サービス、ならびに関連企業に注目することで、安定的な投資成果の獲得を目指します。

足元のグローバル株式市場は米国の関税政策が最終的には想定ほど厳しいものにはならないとの楽観論が広がったことで落ち着きを取り戻していますが、同関税政策に対する不透明感は払拭されておらず、引き続き不安定な動きが予想されます。そうしたなか、当ファンドでは中長期的な構造変化を見極め、企業の経営者にもフォーカスした徹底的なボトムアップ調査を行うとともに、ポートフォリオ全体のリスクバランスにも一段と留意しつつ、安定したリターンを獲得できるよう努めてまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 6 月18日～2025年 6 月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	194	1.650	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(95)	(0.809)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(95)	(0.809)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	13	0.109	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(13)	(0.109)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.018	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.018)	
(d) そ の 他 費 用	23	0.192	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(22)	(0.185)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	232	1.969	
期中の平均基準価額は、11,763円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

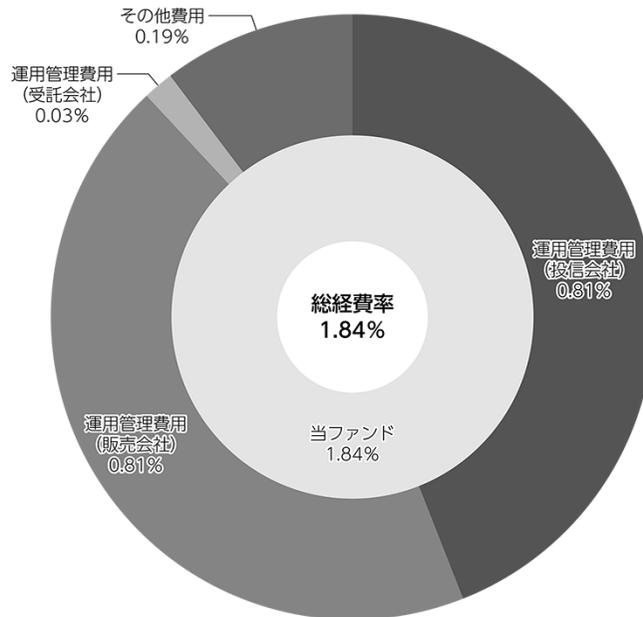
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年6月18日～2025年6月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
RMグローバル中小型株式マザーファンド	千口 2,461	千円 3,945	千口 20,086	千円 34,154

○株式売買比率

(2024年6月18日～2025年6月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	RMグローバル中小型株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	632,940千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	534,608千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.18

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月18日～2025年6月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年6月18日～2025年6月17日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年6月18日～2025年6月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年6月17日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
RMグローバル中小型株式マザーファンド	千口 24,351	千口 6,726	千円 10,364

○投資信託財産の構成

(2025年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
RMグローバル中小型株式マザーファンド	千円 10,364	% 87.1
コール・ローン等、その他	1,531	12.9
投資信託財産総額	11,895	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) RMグローバル中小型株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(460,357千円)の投資信託財産総額(514,755千円)に対する比率は89.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.08円、1ユーロ=167.57円、1英ポンド=196.84円、1スウェーデンクローナ=15.28円、1デンマーククローネ=22.47円、1香港ドル=18.48円。

○特定資産の価格等の調査

(2024年6月18日~2025年6月17日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,895,206
コール・ローン等	105,295
RMグローバル中小型株式マザーファンド(評価額)	10,364,910
未収入金	1,425,000
未収利息	1
(B) 負債	1,516,879
未払解約金	1,419,979
未払信託報酬	96,575
その他未払費用	325
(C) 純資産総額(A-B)	10,378,327
元本	9,372,251
次期繰越損益金	1,006,076
(D) 受益権総口数	9,372,251口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,073円

(注) 当ファンドの期首元本額は33,581,988円、期中追加設定元本額は3,857,818円、期中一部解約元本額は28,067,555円です。

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1,1073円です。

○損益の状況 (2024年6月18日～2025年6月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	37
受取利息	37
(B) 有価証券売買損益	△ 400,397
売買益	980,282
売買損	△1,380,679
(C) 信託報酬等	△ 239,365
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 639,725
(E) 前期繰越損益金	△ 219,038
(F) 追加信託差損益金	1,864,839
(配当等相当額)	(1,017,244)
(売買損益相当額)	(847,595)
(G) 計(D+E+F)	1,006,076
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,006,076
追加信託差損益金	1,864,839
(配当等相当額)	(1,019,061)
(売買損益相当額)	(845,778)
分配準備積立金	196,824
繰越損益金	△1,055,587

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,019,061円)および分配準備積立金(196,824円)より分配対象収益は1,215,885円(1万口当たり1,297円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)

<当ファンドが投資対象とするRMグローバル中小型株式マザーファンドは以下の約款変更を行いました。>

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)

RMグローバル中小型株式マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日 2025年6月17日）
（2024年6月18日～2025年6月17日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2020年4月23日から無期限です。
運用方針	<p>①主として、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている中小型株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。 *上場予定、店頭登録予定を含みます。 *DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証券等を含みます。</p> <p>②社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>
主要投資対象	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)		株組入比率	純資産総額
	騰落	率	騰落	率		
(設定日) 2020年4月23日	円 10,000	% —	155,242.90	% —	% —	百万円 200
1期(2021年6月17日)	17,910	79.1	272,773.84	75.7	97.4	403
2期(2022年6月17日)	12,674	△29.2	260,868.34	△4.4	97.2	384
3期(2023年6月19日)	15,844	25.0	319,040.66	22.3	97.8	572
4期(2024年6月17日)	16,266	2.7	390,064.76	22.3	97.7	573
5期(2025年6月17日)	15,408	△5.3	420,418.63	7.8	98.3	511

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を含む世界の株式のうち中型株を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc. に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI オール・カンントリー・ワールド 中型株インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)		株組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首) 2024年6月17日	円 16,266	% —	390,064.76	% —	% 97.7
6月末	17,195	5.7	400,709.95	2.7	97.8
7月末	16,379	0.7	391,002.50	0.2	98.4
8月末	16,191	△0.5	382,807.76	△1.9	98.2
9月末	16,121	△0.9	391,815.26	0.4	96.4
10月末	17,073	5.0	412,283.72	5.7	98.5
11月末	17,331	6.5	418,549.21	7.3	97.4
12月末	17,305	6.4	421,747.43	8.1	98.0
2025年1月末	17,467	7.4	426,759.58	9.4	98.3
2月末	16,035	△1.4	405,792.79	4.0	98.7
3月末	14,755	△9.3	398,270.44	2.1	98.9
4月末	13,886	△14.6	382,203.08	△2.0	95.7
5月末	15,010	△7.7	408,776.39	4.8	97.6
(期末) 2025年6月17日	15,408	△5.3	420,418.63	7.8	98.3

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年6月18日～2025年6月17日)

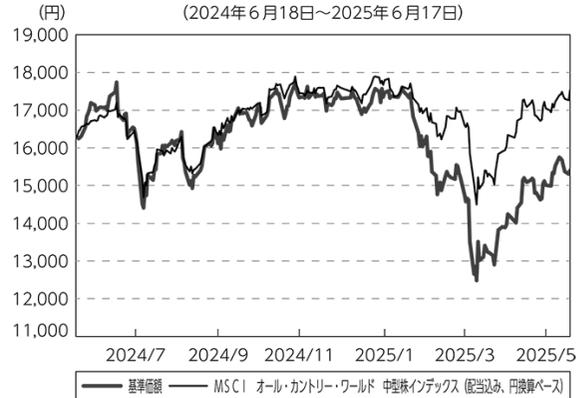
期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

米国の関税政策の影響が懸念されたことや、保有する日本の小型株が相対的に低調であったことなどが、基準価額の下落要因となりました。

基準価額等の推移

(2024年6月18日～2025年6月17日)



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一となるよう指数化しています。

投資環境

グローバル株式市況

グローバル株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期初は、米国の景気後退懸念により一時的に不安定な動きとなりましたが、その後は買い優勢となりました。期中では、トランプ氏が米大統領選挙で再選したことを受け、法人税の引き下げなどへの期待から米国株への買いが進んだほか、ECB（欧州中央銀行）による利下げ継続などが支えとなり、更に上昇しました。期後半では、米国の通商政策などを巡って株価が大きく上下するなど、一進一退の相場環境となりましたが、その後相互関税の上乗せ部分を一時停止したことなどが好感され、買い戻しが優勢となりました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円高となりました。

米ドルに対して、期初は、日米の金融政策の違いから一時円安が進みましたが、日銀による追加利上げの決定や、米国の景気後退懸念に伴うFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測の強まりを背景に、円高米ドル安が進行しました。期中は、想定より底堅い米景気指標などを受け、FRBによる利下げペース鈍化が意識され円安米ドル高となりました。期末にかけては、米国の景気悪化懸念や、トランプ政権のパウエルFRB議長に対する解任発言などを受けて、円高米ドル安が進行しました。

ユーロに対して、期前半は、ECBが連続で利下げを行った一方、日銀は利上げを実施し、円高ユーロ安が進行しました。期後半は、ECBによる利下げ打ち止めが意識される一方で、日銀が追加利上げを見送ったことにより、円安ユーロ高に転じました。

新興国地域において、日銀は利上げを実施した一方、中国では期を通して緩和的な金融政策を維持したことにより、円高元安の動きが続きました。

当ファンドのポートフォリオ

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とし、社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決等にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期末における、SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の純資産総額に占める組入比率は98.3%です。なお、保有全銘柄に占める当該投資銘柄の比率は100%です。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■アルナイラム・ファーマシューティカルズ（米国）

核酸医薬の一種であるRNA干渉薬の分野でのリーディングカンパニーです。体内で遺伝子から異常なタンパク質が合成されるプロセスを阻害することで様々な疾患の治療を目指しています。ドラッグデリバリーシステム（薬物を体内の特定部位に届ける技術）の確立で、将来的には生活習慣病の治療への貢献も期待されています。当期は開発中の心臓治療薬の治験結果が良好で、実用化への期待が高まったことから株価は上昇しました。

■クラウドフレア（米国）

世界中に構築されたサーバーネットワークによりインターネットの高速化を実現しているテクノロジー企業で、近年はサイバーセキュリティ分野でも業績を拡大しています。グローバル化の進展や働き方の変化を受けて、高速で安全なネットワークインフラの維持が求められるなか、同社はソフトウェアを使って仮想的にインフラを構築することで、柔軟に対応できる体制を整えており、持続的な成長が見込まれています。当期は大幅増収が続くなかで成長期待が一段と高まり、株価は堅調に推移しました。

<マイナス要因>

■レックスサイト（米国）

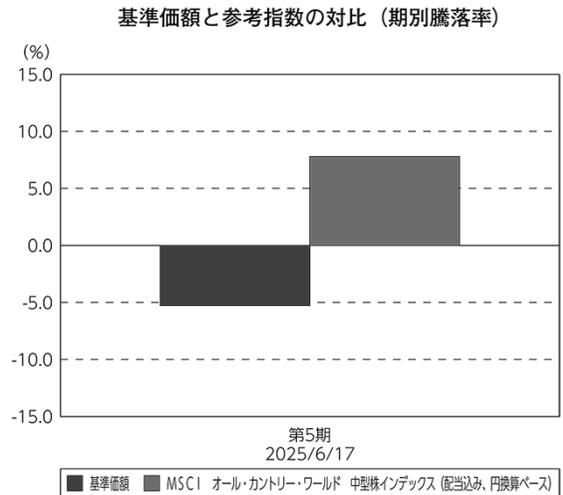
白内障の手術後に使用する眼内レンズを製造・販売している医療技術企業です。同社が開発した眼内レンズは紫外線を当てることにより事後的に度数の調節が可能のため、手術後に必要な視力調整をレンズで行える点を評価しています。売り上げの拡大は続いているものの、足元競合他社の台頭で成長期待の低下懸念から、一旦売却しました。

■ソラコム（日本）

IoTプラットフォームをグローバルで提供しているテクノロジー企業です。IoTは住宅や自動車、家電、電子機器などさまざまなモノをインターネットでサーバーやクラウドに接続し、相互の情報交換を可能にする仕組みです。同社はIoTを活用した事業・サービスの展開に必要な機能をワンストップで提供することで、企業の成長機会獲得や生産性改善に貢献しています。中期的な成長性に変化は無いものの、案件規模の拡大で受注から納品までの時間が長期化し、業績の鈍化が懸念されたことから、一旦売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークを設けておりません。グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



○今後の運用方針

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている中小型株式を主要投資対象とするとともに、需要サイドのニーズと、社会の構造変化やそこから生じる「社会的な課題」に着目し、社会的な課題とSDGsとの関連性にフォーカスすることにより、ユニークな投資アイデアの創出に努めます。持続的な成長が見込まれるさまざまな有望市場や商品・サービス、ならびに関連企業に注目することで、安定的な投資成果の獲得を目指します。

足元のグローバル株式市場は米国の関税政策が最終的には想定ほど厳しいものにはならないとの楽観論が広がったことで落ち着きを取り戻していますが、同関税政策に対する不透明感は払拭されておらず、引き続き不安定な動きが予想されます。そうしたなか、当ファンドでは中長期的な構造変化を見極め、企業の経営者にもフォーカスした徹底的なボトムアップ調査を行うとともに、ポートフォリオ全体のリスクバランスにも一段と留意しつつ、安定したリターンを獲得できるよう努めてまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年6月18日～2025年6月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 19 (19)	% 0.118 (0.118)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.021 (0.021)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	30 (29) (0)	0.182 (0.181) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	52	0.321	
期中の平均基準価額は、16,229円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年6月18日～2025年6月17日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 92	千円 41,162	千株 121	千円 80,121
	アメリカ	百株 342	千米ドル 1,314	百株 466	千米ドル 1,604
外 国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	0.65 (3)	24 (-)	0.29	5
	イタリア	8	75	-	-
	フランス	4	8	1	2
	イギリス	154	千英ポンド 70	33	千英ポンド 40
国	スウェーデン	29	千スウェーデンクローナ 870	-	千スウェーデンクローナ -
	デンマーク	3	千デンマーククローネ 118	0.54	千デンマーククローネ 23
	香港	535	千香港ドル 1,129	70	千香港ドル 115

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2024年6月18日～2025年6月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	632,940千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	534,608千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.18

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月18日～2025年6月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2024年6月18日～2025年6月17日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年6月17日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当期		末
	株数	株数	評価額	評価額
	千株	千株		千円
食料品（-％）				
ユーグレナ	4.6	—		—
医薬品（-％）				
ステラファーマ	32.5	—		—
機械（-％）				
技研製作所	2.4	—		—
情報・通信業（18.3％）				
VRAIN Solution	2.2	—		—
ソラコム	8.7	—		—
カウリス	2.9	—		—
Appier Group	7.3	—		—
IPS	4.3	3.5		8,421
グリッド	2.9	—		—
QPS研究所	0.6	—		—
小売業（34.6％）				
TOKYO BASE	—	37.5		15,975
不動産業（24.6％）				
SREホールディングス	2.8	3.2		11,344
サービス業（22.5％）				
アストロスケールホールディングス	13.9	13.8		10,363
ステムセル研究所	1.3	—		—
合計	株数・金額	86	58	46,103
	銘柄数<比率>	13	4	<9.0%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
CLOUDFLARE INC - CLASS A	13	7	131	19,142	ソフトウェア・サービス	
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	6	4	105	15,361	消費者サービス	
ECOLAB INC	4	3	91	13,205	素材	
ARTHUR J GALLAGHER & CO	—	1	31	4,589	保険	
HUBSPOT INC	1	1	84	12,278	ソフトウェア・サービス	
IQVIA HOLDINGS INC	3	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
KADANT INC	3	2	91	13,336	資本財	
MP MATERIALS CORP	13	32	112	16,292	素材	
MSCI INC	1	1	74	10,800	金融サービス	
MASTEC INC	7	6	105	15,355	資本財	
STEM INC	44	—	—	—	資本財	
XYLEM INC	4	6	80	11,624	資本財	
ELASTIC NV	10	9	79	11,518	ソフトウェア・サービス	
ACM RESEARCH INC-CLASS A	—	32	81	11,801	半導体・半導体製造装置	
ALARM.COM HOLDINGS INC	14	15	88	12,908	ソフトウェア・サービス	
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	9	3	97	14,200	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ANSYS INC	3	0.58	19	2,852	ソフトウェア・サービス	
ARROWHEAD PHARMACEUTICALS INC	35	40	63	9,206	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
DATADOG INC - CLASS A	8	8	99	14,363	ソフトウェア・サービス	
ENTEGRIS INC	7	2	19	2,804	半導体・半導体製造装置	
FOX FACTORY HOLDING CORP	18	31	81	11,764	自動車・自動車部品	
IMPINJ INC	—	2	23	3,375	半導体・半導体製造装置	
INSULET CORP	8	5	168	24,464	ヘルスケア機器・サービス	
INTELLIA THERAPEUTICS INC	—	4	3	519	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
LANTHEUS HOLDINGS INC	11	8	63	9,224	ヘルスケア機器・サービス	
STEVEN MADDEN LTD	22	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
ORIGIN MATERIALS INC	220	209	9	1,370	素材	
PROCEPT BIROBOTICS CORP	—	18	108	15,773	ヘルスケア機器・サービス	
QUANTERIX CORP	69	9	5	837	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ROSS STORES INC	—	2	34	4,947	一般消費財・サービス流通・小売り	
RXSIGHT INC	17	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
SAREPTA THERAPEUTICS INC	—	28	58	8,506	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TACTILE SYSTEMS TECHNOLOGY I	47	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
VARONIS SYSTEMS INC	22	18	92	13,465	ソフトウェア・サービス	
VERISK ANALYTICS INC	—	1	46	6,734	商業・専門サービス	
VERRA MOBILITY CORP	—	34	82	11,922	商業・専門サービス	
VIRTRA INC	47	—	—	—	資本財	
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	2	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
CREDO TECHNOLOGY GROUP HOLDI	—	3	27	4,020	半導体・半導体製造装置	
小 計	株 数	金 額	678	555	2,264	328,570
	銘柄 数 < 比 率 >		29	32	—	< 64.2% >
(ユーロ…ドイツ)					千ユーロ	
HANNOVER RUECK SE	—	0.5	13	2,265	保険	
RATIONAL AG	0.94	1	74	12,531	資本財	
ATOSS SOFTWARE SE	3	5	78	13,196	ソフトウェア・サービス	
小 計	株 数	金 額	3	7	167	27,993
	銘柄 数 < 比 率 >		2	3	—	< 5.5% >

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株数	評 価 額		
(ユーロ…イタリア) BRUNELLO CUCINELLI SPA	百株 —	百株 8	千ユーロ 79	千円 13,306	耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額 —	8	79	13,306	
	銘柄数<比率> —	1	—	<2.6%>	
(ユーロ…フランス) ELIS SA	32	34	82	13,798	商業・専門サービス
小 計	株数・金額 32	34	82	13,798	
	銘柄数<比率> 1	1	—	<2.7%>	
ユ ー ロ 計	株数・金額 35	49	328	55,098	
	銘柄数<比率> 3	5	—	<10.8%>	
(イギリス) GENUS PLC	26	—	千英ポンド —	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ITM POWER PLC	159	242	17	3,504	資本財
WISE PLC - A	—	64	65	12,975	金融サービス
小 計	株数・金額 185	306	83	16,479	
	銘柄数<比率> 2	2	—	<3.2%>	
(スウェーデン) ADDECH AB-B SHARES	—	29	千スウェーデンクローナ 929	14,197	資本財
小 計	株数・金額 —	29	929	14,197	
	銘柄数<比率> —	1	—	<2.8%>	
(デンマーク) NOVONESIS (NOVOZYMES) B	12	14	千デンマーククローネ 704	15,823	素材
小 計	株数・金額 12	14	704	15,823	
	銘柄数<比率> 1	1	—	<3.1%>	
(香港) TECHTRONIC INDUSTRIES CO LTD	—	85	千香港ドル 756	13,980	資本財
XINYI GLASS HOLDINGS LTD	220	650	508	9,405	資本財
SITC INTERNATIONAL HOLDINGS	121	71	183	3,385	運輸
小 計	株数・金額 341	806	1,448	26,770	
	銘柄数<比率> 2	3	—	<5.2%>	
合 計	株数・金額 1,253	1,761	—	456,940	
	銘柄数<比率> 37	44	—	<89.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2025年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 503,044	% 97.7
コール・ローン等、その他	11,711	2.3
投資信託財産総額	514,755	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(460,357千円)の投資信託財産総額(514,755千円)に対する比率は89.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.08円、1ユーロ=167.57円、1英ポンド=196.84円、1スウェーデンクローナ=15.28円、1デンマーククローネ=22.47円、1香港ドル=18.48円。

○特定資産の価格等の調査

(2024年6月18日～2025年6月17日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	514,755,870
コール・ローン等	11,228,710
株式(評価額)	503,044,234
未収配当金	482,848
未収利息	78
(B) 負債	2,925,000
未払解約金	2,925,000
(C) 純資産総額(A-B)	511,830,870
元本	332,194,908
次期繰越損益金	179,635,962
(D) 受益権総口数	332,194,908口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,408円

(注) 当ファンドの期首元本額は352,793,557円、期中追加設定元本額は2,461,721円、期中一部解約元本額は23,060,370円です。

(注) 2025年6月17日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・りそなグローバル中小型株式ファンド(適格機関投資家専用) 325,467,941円
 ・グローバル中小型株式ファンド 6,726,967円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1.5408円です。

○損益の状況 (2024年6月18日～2025年6月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,299,782
受取配当金	3,222,319
受取利息	76,580
その他収益金	883
(B) 有価証券売買損益	△ 29,385,827
売買益	106,345,944
売買損	△135,731,771
(C) 保管費用等	△ 996,039
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 27,082,084
(E) 前期繰越損益金	221,058,697
(F) 追加信託差損益金	1,483,579
(G) 解約差損益金	△ 15,824,230
(H) 計(D+E+F+G)	179,635,962
次期繰越損益金(H)	179,635,962

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)